



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東
コード番号 2221 URL <https://www.iwatsukaseika.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 槇 大介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 星野 忠彦 TEL 0258-92-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	21,907	17.0	845	25.3	2,882	△24.4	2,053	△23.4
2025年3月期第3四半期	18,719	13.5	675	8.8	3,815	39.5	2,678	38.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,202百万円 (△47.7%) 2025年3月期第3四半期 4,212百万円 (94.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	199.50	—
2025年3月期第3四半期	257.52	—

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり四半期純利益の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	92,471	69,409	75.1	6,765.96
2025年3月期	91,104	67,952	74.6	6,531.13

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 69,409百万円 2025年3月期 67,952百万円

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、純資産額には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を「自己株式」として計上しております。また、1株当たり純資産額の算定上、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は期末発行済株式総数の計算において控除する自己株式に含めております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	29,000	16.2	300	△63.2	2,200	△44.5	1,600	△45.0	155.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	11,990,000株	2025年3月期	11,990,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,731,313株	2025年3月期	1,585,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	10,292,233株	2025年3月期3Q	10,402,856株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げによる雇用・所得環境の改善が進むなか、物価上昇により消費マインドに一部慎重さが見られるものの、個人消費や設備投資は底堅く推移するなど、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られております。一方で、米国の通商政策の影響が続き日中関係の不確実性が高まるなか、円安の進行や市場金利の上昇が不安定要因として浮上してきており、先行きについては不透明感が拭えない状況となっております。

米菓業界におきましては、おつまみ需要に加え価格改定効果もあり、市場全体では概ね好調に推移している模様です。しかし、米価が引き続き高止まりしており、原材料の調達環境は依然として厳しい状況となっております。人件費・物流費等のコストも上昇傾向にあり、各社は価格改定や規格見直し等の対応に努めております。このような状況下、米菓メーカーの廃業等も見られ、事業環境はかつてない厳しさが続くものと見られております。

このような経営環境にあって、当社グループは、中期経営計画「米（マイ）ミライ 〜私たちは、お米の未来を創ります〜」の初年度にあたり、「現状の一步先をカタチにしよう！」をスローガンに掲げ、基本方針を「愛され続ける『ブランド』を目指して」と定めて、不確実性の高い時代に、「自分だったらどう思うのか、どうするか」を考えることを大切にしながら、お客様や社会の課題と真摯に向き合い、ブランド価値の向上を目指すとともに「美味しさと品質」を追求しております。

開発部門では、他社との差別化を図るとともにブランドイメージの向上を目指して、お客様に「美味しさの感動と驚き」をお届けするための商品開発を進めております。2021年の発売以来、多くのお客様からご好評いただいております山梨県の銘菓「桔梗信玄餅」とコラボした「きなこ餅 桔梗信玄餅味」の再発売や、加賀棒ほうじ茶を100%使用した「きなこ餅 ほうじ茶ラテ味」を発売するなど、お客様のご要望にお応えし、また新たな需要を創り出すための商品開発に取り組んでおります。

製造部門では、生産計画や人員配置の見直し、主力品の設備増強、DX活用等により、生産効率の向上とともに供給責任の遂行に努めております。主原料をはじめとして原材料価格の上昇は避けられない状況にありますが、生産量の着実な増加や自動化設備の導入等により労務費を抑制するなど、製造原価の低減に努めております。なお、生産性の向上に取り組むとともに、社会課題に対応するため、同業他社との共同配送の実施やモジュール化を進めパレット物流を活用するなど、サプライチェーンの構築やサステナビリティに配慮した活動を行っております。

営業部門では、価格改定等の影響を受け一部商品に伸び悩みが見られたものの、主力商品（TOP6+2）の販売に注力し定番化を推し進めた結果、全体では前年を上回って推移しております。原料米の調達環境が厳しさを増すなか、改めて当社の「日本のお米100%使用」という価値をお伝えするため、11月には俳優の芳根京子さんをイメージキャラクターとする「味しらべ」のTVCMを放映いたしました。これからも「お米となかよし」をキーワードとしてブランドイメージアップに取り組むとともに、認知度の向上に繋げるための情報発信に努めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、堅実な販売実績を示したなかで一定の原価低減効果もあり、営業損益段階では前年同期間比増収増益となりました。すなわち売上高は、価格改定を図るなか主力商品主体にシェア確保に注力した結果、219億7百万円（前年同期間比17.0%増）と伸長しました。損益面では、主原料をはじめとする原材料価格が高騰する状況下にあって、生産高の増嵩が生産効率改善に寄与し製造原価の低減が図られた結果、営業利益は8億45百万円（前年同期間比25.3%増）となりました。なお、経常利益につきましては、当社が保有しているWANT WANT CHINA HOLDINGS LIMITED.の配当により28億82百万円（同24.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億53百万円（同23.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は924億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億66百万円の増加となりました。

流動資産は123億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億53百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が8億1百万円、商品及び製品が4億65百万円、原材料及び貯蔵品が1億61百万円、その他に含めております前渡金が2億円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が14億84百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は801億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億12百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産のその他に含めております機械及び装置が7億49百万円、投資有価証券が時価評価等により3億1百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は230億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して91百万円の減少となりました。

流動負債は45億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億81百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が3億4百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が2億96百万円、賞与引当金が3億18百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は185億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億89百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金負債が1億50百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は694億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億57百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が17億39百万円、その他有価証券評価差額金が1億56百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年10月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,063,481	2,579,079
受取手形及び売掛金	5,990,430	6,792,263
商品及び製品	546,496	1,012,478
仕掛品	155,022	62,924
原材料及び貯蔵品	1,208,352	1,369,614
その他	185,248	551,907
貸倒引当金	△36,450	△1,870
流動資産合計	12,112,581	12,366,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,644,519	8,284,890
その他（純額）	7,341,702	7,552,409
有形固定資産合計	14,986,222	15,837,300
無形固定資産	86,786	73,869
投資その他の資産		
投資有価証券	63,601,080	63,902,684
その他	350,729	361,140
貸倒引当金	△32,681	△70,330
投資その他の資産合計	63,919,128	64,193,493
固定資産合計	78,992,137	80,104,663
資産合計	91,104,718	92,471,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162,375	1,466,502
1年内返済予定の長期借入金	400,800	104,600
未払法人税等	164,847	305,975
賞与引当金	552,930	234,209
その他	2,518,706	2,407,182
流動負債合計	4,799,660	4,518,469
固定負債		
長期借入金	4,400	—
退職給付に係る負債	1,160,584	1,213,516
繰延税金負債	16,639,980	16,790,170
役員株式給付引当金	50,397	50,397
役員退職慰労引当金	4,135	5,035
その他	493,391	483,598
固定負債合計	18,352,889	18,542,717
負債合計	23,152,550	23,061,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	26,031,047	27,771,031
自己株式	△3,138,364	△3,569,973
株主資本合計	26,386,683	27,695,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,454,439	41,610,825
退職給付に係る調整累計額	111,044	103,991
その他の包括利益累計額合計	41,565,484	41,714,816
純資産合計	67,952,167	69,409,874
負債純資産合計	91,104,718	92,471,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,719,813	21,907,304
売上原価	13,417,745	16,238,796
売上総利益	5,302,067	5,668,507
販売費及び一般管理費	4,626,741	4,822,606
営業利益	675,326	845,901
営業外収益		
受取利息	1,006	2,276
受取配当金	2,861,719	1,845,084
その他	289,003	202,766
営業外収益合計	3,151,729	2,050,127
営業外費用		
支払利息	4,304	2,776
休止固定資産費用	3,001	7,169
貸倒引当金繰入額	1,624	1,764
その他	3,035	1,632
営業外費用合計	11,966	13,343
経常利益	3,815,088	2,882,685
特別利益		
固定資産売却益	219	609
投資有価証券売却益	—	49,767
特別利益合計	219	50,377
特別損失		
固定資産除却損	2,175	26,504
固定資産売却損	—	5,715
投資有価証券評価損	9,034	1,900
リース解約損	—	1,367
特別損失合計	11,209	35,488
税金等調整前四半期純利益	3,804,099	2,897,574
法人税、住民税及び事業税	1,026,962	747,289
法人税等調整額	98,194	96,946
法人税等合計	1,125,157	844,236
四半期純利益	2,678,942	2,053,338
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,678,942	2,053,338

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,678,942	2,053,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,534,526	156,385
退職給付に係る調整額	△993	△7,052
その他の包括利益合計	1,533,533	149,332
四半期包括利益	4,212,475	2,202,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,212,475	2,202,671
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
 当社グループは、菓子事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
 当社グループは、菓子事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,170,228千円	1,272,028千円